

マーケットの動き（2023年5月1日～5月5日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で下落（円高）しました。

5月FOMC（米国連邦公開市場委員会）は市場予想通り0.25%の利上げで通過した一方で、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げ長期化に対する警戒感や景気後退懸念から、低リスク通貨とされる円が買われました。5日発表の4月の米雇用統計が市場予想を上回り、米景気悪化への過度な懸念が和らいだことから円売り・ドル買いが優勢となり、下落幅を縮めて週を終えました。

ユーロは前週末比、対円で下落した一方、対米ドルでは上昇しました。

投資環境見通し（2023年5月）

米ドル、ユーロともに円に対して上昇

日本の構造的な貿易赤字に加え、米国や欧州におけるコアインフレ率の高止まり懸念もあり、米ドル、ユーロともに円に対して上昇するとみえています。特に欧州は米国と比較して利上げ終了までに時間を要するとみられることから、ユーロはドルよりも相対的に強含みややすい展開を予想しています。ただし、日銀の金融政策修正が材料視される局面では円高圧力が高まることも考えられます。

	5月2日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	134.90	▲1.27	4.02	▲12.35	4.65
ユーロ/円	148.47	▲1.85	5.67	2.77	11.32

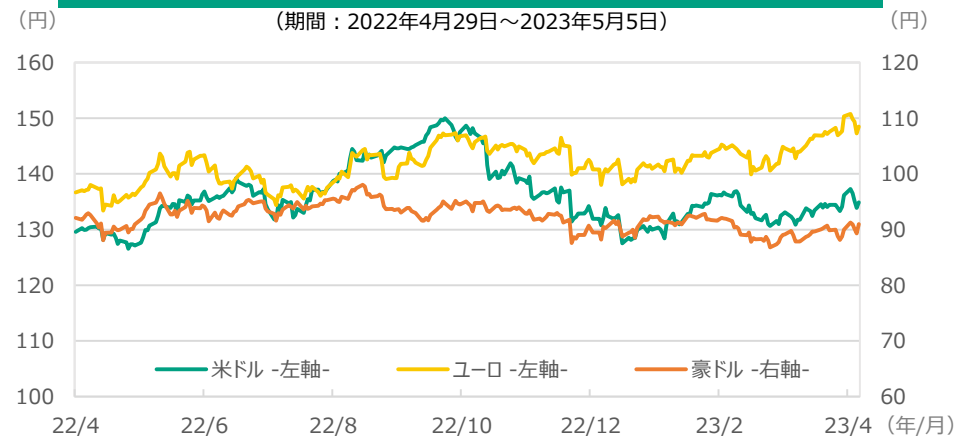
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

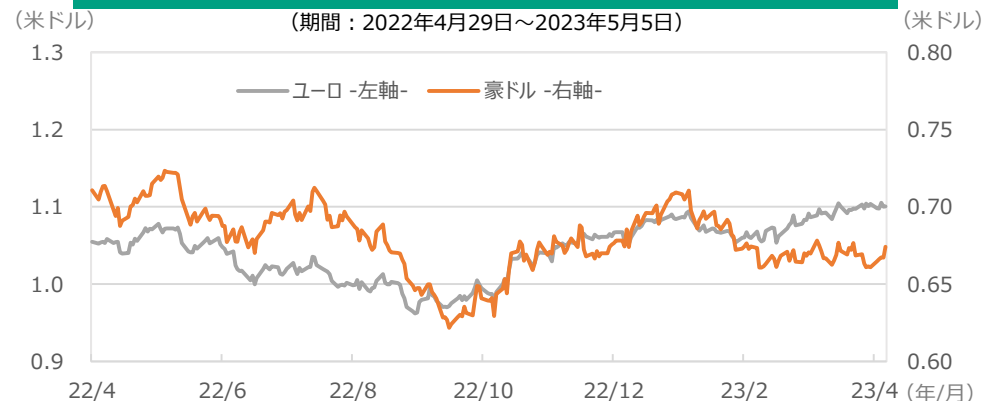
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202305_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成